

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修の基本方針

- 全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるよう教材を選択し、配列した。その中で特徴的な教材については「2. 対照表」に示した。
- 「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。
「言葉の力」とは…新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。
「最高品質の日本語」とは…世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。
- 上記の理念を具現化するために、本「現代の国語」は、「他者と出会い、自己を知る」というテーマに沿って編修し、生徒は「自己の存在を見つめ直しながら、自分の考えを持つ」というゴールを目指せるようにした。
最終的には、高等学校における国語の学習を通して『自分の言葉』を見つけることを目指している。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 ことば・思考 3 芸術・文化	豊かな情操を養う、という観点から読書や芸術鑑賞を促す働きかけを設け、多様な表現を知る助けとなるように工夫した。(第1号)	9頁～22頁、 43頁～66頁
2 自己・他者 4 情報・メディア 5 哲学・思想	個人の価値を尊重するために自他を知り、情報社会における職業及び生活との関連を重視するという観点から、活動を設けた。(第2号)	23頁～42頁、 67頁～90頁、 91頁～114頁
7 経済・社会 8 世界・平和	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う、という観点から、それらにつながる事柄について自ら考え、意見を述べるという活動を設けた。(第3号)	145頁～168頁、 169頁～188頁
6 環境・自然・生命	生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う、という観点から活動を設けた。(第4号)	115頁～144頁
9 言語・歴史	我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、日本人としての自覚を持ちながら世界の中の日本を考え、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う、という観点から活動を設けた。(第5号)	189頁～212頁

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

--

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-232	高等学校	国語	現代の国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるよう教材を選択し、配列した。
- 「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。
「言葉の力」とは…新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。
「最高品質の日本語」とは…世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。
- 上記の理念を具現化するために、本「現代の国語」は、「他者と出会い、自己を知る」というテーマに沿って編修し、生徒は「自己の存在を見つめ直しながら、自分の考えを持つ」というゴールを目指せるようにした。
最終的には、高等学校における国語の学習を通して「『自分の言葉』を見つける」ことを目指している。

単元の構成

- 単元の構成は、領域別、テーマ別とした。
- 単元の配列に当たっては、「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の各領域を、生徒の興味喚起と学習到達度を考慮して、発展的、系統的に学習できるように配列した。
- 教材は、「現代の国語」が、中学校三年間の国語学習の延長上にあり、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るという見地から、教材選択に当たっては、読解に困難を伴うもの、語句・表現の理解に抵抗の多い教材はできるだけ避けるよう配慮した。論理的な文章については、論理的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力を高めるために、獲得すべき価値を多く有しているものを人文・自然の両面にわたり幅広く、調和的に選んだ。実用的な文章については、生徒の生活感覚に近いもので実社会に必要と考えられるものを、論理的な文章との関係において適宜配置した。

【知識及び技能】

- 「深い学びのために」の主に「言葉と表現」で、言葉の特徴や使い方に関する問題を設けた。
- 情報の扱い方に関して、「単元の言語活動」の要点や図解に入れ込み、言語活動を通して具体的に理解し、定着を図るよう工夫した。
- 各単元の末尾に、論理的な文章に関連した「読書のすすめ」を掲げ、読書の意義と効用について理解を深める助けとした。
- 論理的な文章の末尾に「漢字の整理」、付録に「常用漢字表」を設け、「言語文化」の指導との関連も図りながら、常用漢字の学習に資するようにした。

【思考力・判断力・表現力等】

- 「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」については、「深い学びのために」の主に「学習のポイント」と「言語活動」、各単元のまとめとなる「単元の言語活動」で、学習指導要領に示された「言語活動例」に即して、「2. 対照表」に示した実践的な活動を設けた。その際、【知識及び技能】との関連を図れるよう配慮した。
- 言語活動は、年間を通じて系統的に学習効果が高められるよう配慮した。各教材での言語活動は具体的に指導できるようにし、単元のまとめである「単元の言語活動」では、単元内の全ての教材で学んだことを活用した課題を設定した。さらに、「単元の言語活動」での学習過程を、同じ領域の次の単元でも繰り返し、自ら改善することで、それらの能力の習熟向上を図った。また、言語活動ではグループ活動やクラスメートとの相互評価等の、対話を促した活動を積極的に設けた。
- また、「言語活動」を踏まえ「国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力」を最大限に生かした生徒の多様な課題に対する意識づけをする目的で、「探究活動」を設けた。
- 「話すこと・聞くことの窓」「書くことの窓」や図版を設け、活動の助けとした。

【学びに向かう力・人間性等】

「学ぶに向かう力—自ら学び続ける工夫」

- 1) たしかに学ぶ
 - 「領域別教材一覧」を設け、何をどのように学ぶのか、どんな力が身につくのかを明示した。見通しをもった学習計画づくりに資する。
 - 「単元扉」では、単元のねらいだけではなく、領域ごとの段階的な学びを示した。この単元の言語活動はどのような観点で取り組むのかを指導者と生徒が共有できるように工夫した。
 - 以上2点は、学習を見通すだけでなく、学習を振り返る際にも役立つものである。
- 2) 学びを深める
 - 「単元の言語活動」は、PDCAを基本として展開している。目標の提示から評価までの過程を具体的に示すとともに、指導の重点を下段で明示している。
- 3) 知識・技能を生かす
 - 「話すこと・聞くことの窓」「書くことの窓」は総論から各論へ展開している。学習活動を進めるうえで必要になる知識・技能に対する理解を助け、言語活動で生かせるようにした。

以上の【知識及び技能】【思考力・判断力・表現力等】【学びに向かう力・人間性等】を支援することにより、現代社会を生きるために必要な資質・能力を確実に育成できる教科書である。

常用漢字以外の使用漢字一覧表

弘	韌	鎧	烙	鳩	阿	咋	摺	嘘	些	驚	捏	撒	吞	齟	齧	齋	綴	訝
10	11	13	25	25	25	25	26	27	27	30	30	31	31	31	31	44	44	49
哉	邁	裡	汲	軋	轢	敲	智	凌	駕	繹	孕	崎	厨	癌	炯	坐	藁	藺
52	54	54	56	59	59	65	68	69	69	79	84	94	94	95	96	100	101	101
馴	鎬	棲	叩	袱	匙	嗜	桂	叡	沌	之	截	喧	尖	拮	晰	浩	奢	饗
101	102	102	102	104	104	105	116	123	124	124	126	146	154	155	159	170	171	172
樂	叢	暉	峻	讐	煽	渾	辜	鋤	鍬	焚	播	澹						
172	174	177	177	178	178	179	179	193	193	194	200	201						

音訓一覧表

長	おさ	10	掌	てのひら	69	修	おさむ	123
歪めて	ゆがめて	10	長けた	たけた	70	怖	おそ	123
止す	さす	11	清	し	73	愛	いと	124
活かした	いかした	12	博	ひろし	73	露	あら	124
悦ばしい	よろこばしい	12	活き	はたらき	73	有	あり	124
印す	しるす	12	通	とおる	76	晴	はる	124
身体	からだ	17	似	ね	79	与	くみ	126
掛詞	かけことば	20	囚われ	とらわれ	79	節	たかし	132
斑鳩	いかるが	25	露わ	オープン	83	昇	のぼる	137
否	いや	26	樹	たつる	92	何処	いずこ	137
虚しい	むなしい	26	徹	とおる	94	克人	かつひと	146
怖	お	28	善紀	よしのり	96	宗介	むねすけ	153
一	かず	30	鶏	とり	96	二	じ	170
上手い	うまい	44	徴	しるし	96	席卷	せっけん	170
怪	け	49	部	べ	100	淑	いつ	177
成田	なりた	52	英	ひで	100	美	み	190
香港	ホンコン	53	造	づくり	101	希	まれ	197
気質	かたぎ	54	卓	ちゃ	104			
貯める	ためる	69	堪	たん	104			

別紙様式第 22 号

(日本産業規格 A 列 4 番)

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
10～13	自分の時間で読み継ぐ	国語教材	朝日新聞		長田弘	朝日新聞社	2009年10月 22日夕刊	
12	『読書』（黒田清輝筆）	絵画						Cynet Photo Z39110000044
13	長田弘	写真						Cynet Photo ASA110004645
15～18	「ふと」と「思わず」	国語教材	「カタコトのうわごと」	53～56	多和田葉子	青土社	2007年	
18	多和田葉子	写真						
24～28	わかりあえないことから	国語教材	「わかりあえないことから コ ミュニケーション能力とは何か」	99～105	平田オリザ	講談社	2012年	
29	平田オリザ	写真						Cynet Photo ASA110004832
30～34	自他の間の〈間〉	国語教材	「『聴く』ことゝの力 臨床哲学 試論」	90～97	鷺田清一	筑摩書房	2015年	
34	鷺田清一	写真						Cynet Photo ASA110004822
44～50	上手い、おもしろい	国語教材	「ルビンのツボ 芸術する体と 心」	93～99	齋藤亜矢	岩波書店	2019年	
50	齋藤亜矢	写真						
52～59	美意識は資源である	国語教材	「図書」		原研哉	岩波書店	2009年9月号	

53	イラスト（原研哉）	挿絵	「図書」			原研哉	岩波書店	2009年9月号	
56	「京都議定書」を採択した 締約国会議	写真							amanaimages 23023002161
59	原研哉	写真							Cynet Photo U65110000001
68～74	未来を予測する最善の方法	国語教材	「図書」	21～25	松田雄馬	岩波書店		2017年12月 号	
75	松田雄馬	写真							Cynet Photo U66110000001
76～84	ビッグデータと人工知能	国語教材	「ビッグデータと人工知能 可 能性と畏を見極める」	184～194	西垣通	中央公論新社		2016年	
84	西垣通	写真							Cynet Photo ASA110004821
87	図表1 異文化理解力・対応 力（諸外国比較）	グラフ	「子供・若者白書」令和元年度 版	図表11異文化 理解力・対応 力（国内外比 較）	内閣府				Cynet Photo X25110000002 出典を基に図表番号 を変更
87	図表2 将来外国留学をした いか	グラフ	「子供・若者白書」令和元年度 版	図表12将来外 国留学をした いか	内閣府				Cynet Photo X25110000003 出典を基に図表番号 を変更
87	図表3 外国留学への意識と ボランティア活動の経験に ついて	グラフ	「子供・若者白書」令和元年度 版	図表14外国留 学への意識と ボランティア 活動の経験に ついて	内閣府				Cynet Photo X25110000004 出典を基に図表番号 を変更
92～97	働くことの意味	国語教材	「日本の論点2010」	48～51	内田樹	文藝春秋		2010年	
98	内田樹	写真							Cynet Photo U67110000001
100～105	坐の象徴論	国語教材	「坐の文明論」	164～170	矢田部英正	晶文社		2018年	

101	書院造	写真						Cynet Photo MOP110049200
106	矢田部英正	写真						Cynet Photo U68110000001
107	蹲踞	写真						Cynet Photo IMN000000031
109	シーサー	写真						pixta 14971442
109	平和の火	写真						photoAC 578557
109	おきなわ郷土村	写真						photoAC 2529217
109	玉泉洞	写真						Cynet Photo NHI110023174
109	ニシ浜	写真						photoAC 3372278
109	ひめゆりの塔	写真						photoAC 1923831
109	玉泉洞	写真						Cynet Photo NHI110023174
109	熱帯魚	写真						フォトライブラリー
113	イラスト（発表）	挿絵						アート工房
116～121	生命誌からのメッセージ— 細胞から見えてくる「生」 と「性」	国語教材	「いのち愛づる生命誌—38億年 から学ぶ新しい知の探究」	117～123	中村桂子	藤原書店	2017年	
118	生命誌絵巻	絵画	「いのち愛づる生命誌—38億年 から学ぶ新しい知の探究」	口絵	中村桂子	藤原書店	2017年	中村桂子（JT生命誌 研究館）
121	中村桂子	写真						
123～130	人と動物、共存の場所	国語教材	「鳥獣害—動物たちと、どう向 き合うか」	194～203	祖田修	岩波書店	2016年	

177～182	対話する社会へ	国語教材	「対話する社会へ」	i～vii	暉峻淑子	岩波書店	2017年	
180	フルシチョフ首相とケネディ大統領	写真						Cynet Photo UIG110120832
182	暉峻淑子	写真						Cynet Photo ASA110004831
187	イラスト（話合い）	挿絵						アート工房
190～195	〈普遍語〉とは何か？	国語教材	「日本語が亡びるとき 英語の世紀の中で」	122～125	水村美苗	筑摩書房	2008年	
191	ロゼッタストーン	写真						amanaimages 11031010018
195	水村美苗	写真						Cynet Photo U69110000001
197～202	漢文脈と近代日本	国語教材	「漢文脈と近代日本」	19～23	齋藤希史	KADOKAWA	2014年	
200	西夏文字	写真						Cynet Photo U72110000001
200	チュノム	写真						Cynet Photo U71110000001
202	齋藤希史	写真						

※ 上記以外の写真・挿絵・地図等は自社作成のものである。

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や所有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、

出典を確認することが可能な情報を記入する。

- 3 出典を基に申請図書が発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。
- 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作者者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。



原典に加除訂正を加えた箇所

教材名	加除訂正を加えた所		原典	教科書	加除訂正の理由
	原典	教科書			
自分の時間で読み継ぐ	見出し	P. 10 (1行)	悦ばしい読書 (見出し)	削除	教育上の配慮
	4段目	P. 12 (1行の前)	中断を活かす (見出し)	削除	教育上の配慮
わかりあえないことから	P. 99 (1行)	P. 24 (2行の前)	わかりあう文化 (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 99 (3~4行)	P. 24 (3行)	先の辞書の記述などを見ると、	削除	教育上の配慮
	P. 99 (13~14行)	P. 24 (13行の後)	第一章で指摘した……としている。	削除	教育上の配慮
	P. 101 (2~9行)	P. 25 (14行の後)	だが一方で、……感じることも多い。	削除	教育上の配慮
	P. 101 (10行)	P. 25 (15行)	だが、そうは言っても、	だが、	教育上の配慮
	P. 102 (6~9行)	P. 26 (8行の後)	TPP (環太平洋……耐えるということだ。	削除	教育上の配慮
	P. 102 (10行)	P. 26 (9行の前)	対話と対論の違い (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 103 (5行)	P. 26 (15行)	こういった議論の形にも	こういった議論の形も	生徒の混乱を避けるため
自他のあいだの〈間〉	P. 90 (1~12行)	P. 30 (1行の後)	したがって、……しかし、	削除	教育上の配慮
	P. 90 (12行)	P. 30 (2行)	〈間〉というのは	人と人の〈間〉というのは	著者の希望による
	P. 90 (13行)	P. 30 (3行)	他者のその他者として	他者のその他者として (下線部に傍点追加)	著者の希望による
	P. 90 (13行)	P. 30 (3行)	そこにおいて	削除	著者の希望による
	P. 90 (14~15行)	P. 30 (4行~5行)	休める、いわば自己調整の場ではないのだろうか。	休めることもできる、そういう自己調整の場である。	著者の希望による
	P. 91 (左)		図版 植田正治「シリーズ『童歴』より」 1955-70年	削除	教育上の配慮
	P. 92 (1行)	P. 31 (1行)	タイミングが、	例えばタイミングが、	著者の希望による
	P. 92 (5行)~P. 93 (10行)	P. 31 (4行の後)	飽くずのあいだに……つぎに見るように、	削除	教育上の配慮
	P. 93 (11行)	P. 31 (5行)	日常的にはむしろ、	日常的には、	著者の希望による
	P. 94 (見出し)	P. 31 (12行の前)	3 補完性 (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 94 (9行)	P. 32 (5行)	他者が必要だ、	他者が必要だ。	生徒の混乱を避けるため
	P. 94 (12~13行)	P. 32 (8行)	《補完性》を問題にするのは、	《補完性》を問題にしたのは、	教育上の配慮
	P. 94 (13行)	P. 32 (8行)	先にも引いた	削除	教育上の配慮
	P. 94 (14行)	P. 32 (10行)	そこで	削除	教育上の配慮
	P. 95 (7行)	P. 33 (1行)	だれの他者	誰の他者 (下線部に傍点追加)	著者の希望による

	P. 96	P. 33 (10行の後)	図版 植田正治「へのへのもへの」1949年	削除	教育上の配慮
	P. 97 (9行)	P. 34 (3行)	他人の意識のなかで	つまりは自分が他人の意識の中で	著者の希望による
	P. 97 (10～16行)	P. 34 (4行の後)	寺山修司も……同一化がそうだ。ここ	削除	教育上の配慮
上手い、おもしろい	P. 94 (5行)	P. 45 (7行の前)	根拠は、やはりチンパンジーだ。	削除	教育上の配慮
	P. 94 (5行)	P. 45 (7行)	先にも述べたが、チンパンジーが描くとき、	チンパンジーは、絵筆を渡すと、それを扱って描くことができる。	教育上の配慮
	P. 94 (14行)	P. 45 (16行)	アイ	あるチンパンジー	教育上の配慮
	P. 94 (14行)	P. 45 (16行)	パン	別のチンパンジー	教育上の配慮
	P. 95 (10～11行)	P. 46 (13行)	「これ、アンパンマン」と	削除	教育上の配慮
	P. 98 (10行)	P. 49 (15行)	芸大	大学	教育上の配慮
	P. 99 (7～16行)	P. 50 (13行の後)	インターネット……とてもおもしろかったです。	削除	教育上の配慮
未来を予測する最善の方法	P. 21 (中11～12行)	P. 68 (13行)	(拙著『人工知能の哲学』東海大学出版部)	(『人工知能の哲学』)	教育上の配慮
	P. 22 (中17～下17行)	P. 70 (10行の後)	「多くの技術者に情報化社会が支えられている」……業界に留まらない。	削除	教育上の配慮
	P. 23 (上1～17行)	P. 70 (13行の後)	とは言うものの、……時代なのである。	削除	教育上の配慮
	P. 24 (中18～19行)	P. 73 (7行)	(清水博『生命知としての場の論理』中公新書)。	(清水博『生命知としての場の論理』)。	教育上の配慮
	P. 24 (下9～11行)	P. 73 (12行)	(エルヴィン・シュレーディンガー『生命とは何か』岩波文庫)。	(エルヴィン・シュレーディンガー『生命とは何か』)。	教育上の配慮
	P. 24 (下20～21行)	P. 73 (16行)～P. 74 (1行)	(清水博『〈いのち〉の自己組織』東京大学出版会)。	(清水博『〈いのち〉の自己組織』)。	教育上の配慮
	P. 25 (中11～下10行)	P. 74 (14行の後)	いまや、自らが欲すれば、……筆者は考えている。(まつだ ゆうま・プレインコンピュータ)	削除	教育上の配慮
ビッグデータと人工知能	P. 184 (1行)	P. 76 (1行の後)	5・2 人間と機械の協調(見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 185 (17行)～P. 186 (1行)	P. 78 (4行の前)	ユダヤ＝キリスト＝神教の……なるのだろう。	削除	教育上の配慮
	P. 189 (6～10行)	P. 81 (12行の後)	このアプローチは……増すことはできるのだ。	削除	教育上の配慮
	P. 190 (2行～3行)	P. 82 (5行)	解放してくれるドラえもんは……居ないのだ。	削除	教育上の配慮
	P. 190 (9行)～P. 191 (17行)	P. 82 (11行の後)	IAが人間同士の……とらえることができる。	削除	教育上の配慮
	P. 192 (5行)	P. 82 (16行)	チェンは、	ドミニク・チェンは、	生徒の混乱を避けるため
	P. 192 (5行)	P. 82 (16行)	前章で一部を引用した	削除	教育上の配慮

	P. 193 (9～14行)	P. 84 (6行の後)	チェンは血統としては……感じないではられない。	削除	教育上の配慮
	P. 194 (3～16行)	P. 84 (9行の後)	情報教育の刷新 (見出し)……実現性のない	削除	教育上の配慮
働くことの意味	P. 48 (上1行)	P. 92 (2行の前)	人間だけが労働する (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 48 (上2～3行)	P. 92 (2行)	編集部から「働くとはどういうことか」というお題をいただいた。この問いが……	「働くとはどういうことか」。この問いが……	教育上の配慮
	P. 49 (上14行)	P. 93 (13行)	人間以外の動物はしないことは……	人間以外の動物がしないことは……	教育上の配慮
	P. 50 (上19行)	P. 93 (16行の前)	価値を認める他者がいてはじめて労働になる (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 50 (下7行)	P. 95 (14行の後)	「うちに来て働かないか」といわれるわけ (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 51 (上6～9行)	P. 96 (11行～12行)	……この青年は深夜レストランのウェイターという、さして「やりがいのある」仕事でもなさそうな仕事を通じて……	…この青年は深夜レストランのウェイターという仕事を通じて……	教育上の配慮
	P. 51 (上19行)	P. 97 (2行の前)	「ありがとう」を求めて私たちは労働する (見出し)	削除	教育上の配慮
坐の象徴論	P. 164 (1～11行)	P. 100 (1行の後)	一段上の框に上がり、……成功したのである。	削除	教育上の配慮
	P. 164 (12行)	P. 100 (2行の前)	日本家屋の身体性 (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 166 (5～15行)	P. 102 (1行の後)	畳の寸法は……よく似ている。	削除	教育上の配慮
	P. 168 (1行)	P. 103 (3行の前)	椅子座の近代 (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 169 (11行)	P. 104 (12行の前)	いままでもみてきたように、	削除	教育上の配慮
生命誌からのメッセージ	P. 117 (1行)	P. 116 (1行)	細胞から見えてくる「生」と「性」—生命誌からのメッセージ (タイトル)	生命誌からのメッセージ—細胞から見えてくる「生」と「性」 (タイトル)	教育上の配慮
	P. 117 (2行)	P. 116 (3行の前)	ものみな一つの細胞から (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 117 (3行)	P. 116 (3行)	多種多様な生きものがいます。	多種多様な生き物が暮らしています。	著者の希望による
	P. 118 (7行)	P. 117 (4行)	増殖する。(自分と同じものをつくる)	増殖する(自分と同じものをつくる)。	著者の希望による
	P. 118 (8行)	P. 117 (5行)	代謝する。(外から……を出す)	代謝する(外から……を出す)。	著者の希望による
	P. 118 (9～10行)	P. 117 (6行～8行)	変化する。(個の……変化がある)	変化する(個の……変化がある)。	著者の希望による
	P. 118 (14行)	P. 117 (12行～13行)	としているからだろう	としているからに違いない	著者の希望による
	P. 118 (15行)	P. 117 (13行)	(巻頭カラー口絵の「生命誌絵巻」を参照)	削除	教育上の配慮
	P. 119 (3～4行)	P. 118 (1行の前)	たった一つの細胞から始まる生きものの歴史 (見出し)	削除	教育上の配慮
P. 119 (5行)	P. 118 (1行)	(巻頭のカラー口絵を参照)	削除	教育上の配慮	

	P. 119 (上)		図版 「染色体」「ヒトの染色体 (23対ある)」「DNA」	削除	教育上の配慮
	P. 120 (6行)	P. 119 (2行の前)	生命誌とは?—真核細胞と 「性」の誕生 (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 121 (8行)	P. 120 (3行)	登場してくるわけです。	登場してくるのです。	著者の希望による
	P. 121 (9行)	P. 120 (4行の前)	「性」がつくりだす「多様 性」、そして「死」 (見出 し)	削除	教育上の配慮
	P. 122 (上)		図版 「減数分裂と受精」	削除	教育上の配慮
	P. 123 (3~15行)	P. 121 (6行の後)	「ただ一つ」……それは考 えら	削除	教育上の配慮
人と動物、共存の場所	P. 194 (1行)	P. 123 (2行の前)	自然均衡と形成均衡 (見出 し)	削除	教育上の配慮
	P. 194 (2行)	P. 123 (2行)	しかし	削除	教育上の配慮
	P. 194 (3行)	P. 123 (3行)	先の生物と生物の自然均衡	いわゆる生物と生物の間の 「自然均衡」	著者の希望による
	P. 194 (4行)	P. 123 (4行~5行)	すなわち形成均衡の世界	すなわち「形成均衡」の世 界	生徒の混乱を避けるため
	P. 194 (6~14行)	P. 123 (5行の後)	このように見てくれば、… …こうして	削除	教育上の配慮
	P. 195 (3行)	P. 123 (9行の前)	形成均衡の場所 (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 195 (5行)	P. 123 (10行)	共生関係を結ぶという「家 畜」という	共生関係を結ぶ「家畜」と いう	著者の希望による
	P. 197 (10行)	P. 126 (2行)	截然 (ルビ「さいぜん」)	截然 (ルビ「せつぜん」)	生徒の混乱を避けるため
	P. 198 (4~8行)	P. 126 (6行の後)	3 保護・管理の方向と限 界 (見出し) ……でなけれ ばならない。	削除	教育上の配慮
	P. 198 (9行)	P. 126 (7行の前)	人間の圧倒的な力 (見出 し)	削除	教育上の配慮
	P. 200 (3行)	P. 127 (13行)	構築する過程で見られたよ うに (第5章)、	構築する過程で見られるよ うに、	教育上の配慮
	P. 200 (11行)	P. 128 (6行の前)	「怖れながらの管理」 (見 出し)	削除	教育上の配慮
	P. 203 (3~14行)	P. 130 (10行の後)	東西ともに、……生活、	削除	教育上の配慮
現代社会はどこに向かうか	P. 8 (1行~4行)	P. 153 (1行の後)	ジャック犯によって……だ けである。	削除	教育上の配慮
	P. 8 (上)	P. 153 (下)	図3 ロジスティック曲線 (キャプション)	図1 ロジスティック曲線 (キャプション)	教育上の配慮
	P. 8 (11行~12行)	P. 153 (6行~8行)	図3	図1	教育上の配慮
	P. 9 (上)	P. 154 (上)	図4 世界人口の増加年率 (キャプション)	図2 世界人口の増加年率 (キャプション)	教育上の配慮
	P. 9 (8行~9行)	P. 154 (5行)	「南の国々」を含む	削除	教育上の配慮
	P. 9 (13行)	P. 154 (7行~8行)	増殖率を低下している	増殖率は低下している	生徒の混乱を避けるため
	P. 9 (13~14行)	P. 154 (8行)	図4	図2	教育上の配慮
	P. 10 (7行)	P. 154 (15行)	図5	図3	教育上の配慮

	P. 10 (上)	P. 155 (上)	(図5「人間の歴史の3つの局面」キャプション) 〈軸の時代〉Ⅰ 〈軸の時代〉Ⅱ 〈軸の時代〉Ⅰ,Ⅱについては、本章4節を参照	削除	教育上の配慮
	P. 10 (12行) ~ P. 11 (13行)	P. 155 (4行の後)	前節われわれの見てきた矛盾、……安定平衡期の時代に向	削除	教育上の配慮
	P. 117 (1行~2行)	P. 155 (5行の前)	2 一個体当たり資源消費量、環境破壊量の増大による加速化——人間にとってのロジスティック曲線2 (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 117 (3行)	P. 155 (5行~6行)	考える時の第二のポイントは	考える時のポイントは	教育上の配慮
	P. 117 (7行)	P. 155 (10行)	このことを前提している。	このことを前提としている。	生徒の混乱を避けるため
	P. 118 (2行~4行)	P. 156 (2行の前)	3 テクノロジーによる環境容量の変更。弾力帯。「リスク社会」化。不可能性と不必要性——人間にとってのロジスティック曲線3 (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 118 (5行)	P. 156 (2行)	前項に見た、	先に見た、	教育上の配慮
	P. 122 (9行) ~ P. 123 (4行)	P. 159 (12行の後)	この点については……生きはじめているように思われる。	削除	教育上の配慮
世界中がハンバーガー	P. 146 (1~2行)	P. 171 (4行)	(とくにMというイニシアル)	削除	教育上の配慮
	P. 147 (6行)	P. 172 (8行の前)	都市文化の変貌 (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. 149 (1行)	P. 173 (14行)	従来からの	従来の	教育上の配慮
対話する社会へ	P. i (1行)	P. 177 (2行の前)	まえがき (見出し)	削除	教育上の配慮
	P. ii (7行~13行)	P. 178 (4行の後)	学校教育で、体罰や暴力が……対話をする気がないからです。	削除	教育上の配慮
	P. iii (12行~13行)	P. 179 (3行)	(幡谷則子「コロンビア和平プロセスの課題——新和平合意をめぐって」二〇一六年一月九日、シノドス配信)	削除	教育上の配慮
	P. iv (7行~8行)	P. 179 (12行)	(ロバート・ケネディ『13日間—キューバ危機回顧録』毎日新聞社外信部訳、中公文庫、二〇一四年)	削除	教育上の配慮
	P. vi (10行)	P. 181 (16行)	私が本書の中で探究したそれらの言葉は	これらの言葉は	教育上の配慮
	P. vi (11行) ~ P. vii (5行)	P. 182 (1行の前)	この著書で、私は……事例を紹介しました。	削除	教育上の配慮
漢文脈と近代日本	P. 20 (10行~11行)	P. 198 (16行)	具体例はこの本の中でも示されるはずですが、おおよざっぱに言っても、	削除	教育上の配慮
	P. 21 (4行)	P. 199 (10行の前)	漢文脈の輪郭 (見出し)	削除	教育上の配慮